



我孫子オーディオファンクラブ (AAFC)

分科会へのご案内 (会員による自主講座)

第8回

ジネット・ヌヴェー (仏 1919—1949 30歳没) 全3回

その3 死の1年前 奇跡的に残されたライブ録音を主体に (29~30歳)

ヌヴェーは1949年10月28日渡米途中の航空機事故で亡くなりましたが、その1年半前にドビュッシーのヴァイオリン・ソナタ(今回演奏)をスタジオ録音し、これを最後にライブ録音に切り替えています。

今回は1949年1月、ニュー・ヨークでミュンシュ指揮によるショウソンの「詩曲」、ラヴェルの「ツィガーヌ」をお聴きいただきますが、併せてヌヴェーの演奏スタイルを知る上でどうしても欠かせない映像をご覧ください。

これは僅か3分程度ですが、1946年(27歳)プラハでミュンシュ指揮のもと、ショウソンの「詩曲」最終部分が映し出されています。ヌヴェーの動画としては唯一の物と思われます。同時代人の女流名ヴァイオリストのイダ・ヘンデルのコメントもユニークです。

最後に、ベートーヴェンのヴァイオリン協奏曲をLPでお聴きいただきますが、これはヌヴェー最後の録音となり、事故死のほぼ1か月前の演奏です。

往年の女流

名ヴァイオリニストによる

演奏を聴く



演奏曲目

- | | | |
|------------|----------------|----------------|
| 1. ドビュッシー | ヴァイオリン・ソナタ ト短調 | 1948.3(スタジオ録音) |
| 2. ショウソン | 詩曲より ヌヴェー唯一の映像 | 1946. プラハ |
| 3. ショウソン | 詩曲 ミュンシュ指揮 | 1949.1 ニュー・ヨーク |
| 4. ラヴェル | ツィガーヌ 同上 | 同上 同上 |
| 5. ベートーヴェン | ヴァイオリン協奏曲 二長調 | |
| | ロスバウド指揮 1949.9 | バーデンバーデン |

日時 / 7月13日(日) 13:30~15:30

場所 / 久寺家近隣センター 多目的ホール

発表者 / 霜鳥 晃 シリーズ全13回(予定)

参加自由・入場無料

問合わせ / 04-7184-3771 佐藤 <http://www.aafc.jp/>